

日本ポルトガル修好通商条約 150 周年記念事業予定 (随時更新) (a2)

2010 年

日本の新進作家 vol.8 「出発－6 人のアーティストによる旅」

\* 写真集『4 月 25 日橋』の内藤さゆりさんの作品を展示。

2009 年 12 月 19 日～2010 年 2 月 7 日

東京都写真美術館

<http://www.syabi.com/details/collection3.html>

( 写真展 )

---

没後 50 年 北大路魯山人展

～特別展示 ポルトガルから里帰りする魯山人の壁画「桜」と「富士」

\* 幻といわれた「桜」「富士」がポルトガルで発見され、日本で展示される。

2009 年 12 月 27 日～2010 年 1 月 18 日

日本橋タカシマヤ (東京)

2 月 24 日～3 月 8 日

ジェイアール名古屋タカシマヤ (名古屋)

( 美術展 )

---

ポルトガル BTL に視察旅行

1 月

( 観光 )

---

## 吉岡優子 サロンコンサート

\* ピアニストの吉岡優子さんがポルトガル人作曲家の作品を奏でる。

2月17日  
大使公邸（東京）

協賛：**KAWAI**

（音楽会）

---

## Rooms のフェアに参加

2月

（経済）

---

## ビデオ・エクスチェンジ・プログラム “Who you know? who knows you?”

\* 国別の討議というかたちで、他者理解の困難さを探究しようという試み。他者を都合のいい意味の下に組み伏せようとする「理解」を目指すものではなく、そうした地点からどれだけ遠ざかることができるのかということを試そうとするものです。

2月27日 17時～20時 オープニング・レセプション

2月27日～3月20日（月曜・火曜休）  
13時～19時

Art & River Bank  
[www.art-and-river-bank.net](http://www.art-and-river-bank.net)

（展覧会）

---

**国際シンポジウム “City and Waterfront”**  
**The 15th Inter-University Seminar on Asian Mega-cities**

- \* 景観建築家クリスティーナ・カステル＝ブランコ講演
- 3月11日 「City and Ocean, Case Study of Tagus Bay (仮)」
- 3月12日 「Fusion Urban Planning in waterfront cities: Nagasaki」

東京大学

<http://www.epd.t.u-tokyo.ac.jp/IUSAM/index.html>

( 講演会 )

.....  
**第6回国際会議 「宗教に伴う言語学」**

\* 宣教師や宗教に係る言語および言語学の調査研究についてのアクチュアルな動向を知ること  
を主たる目的とした国際会議。

3月16日～19日

東京外国語大学 アジア・アフリカ言語文化研究所

<http://www.joao-roiz.jp/MLG2010/index.html>

<http://www.joao-roiz.jp/MLG2010/program>

(国際会議)

.....  
**ジョアン・カルヴァーリョ 絵画展 「Espaço Vazio - クウカン」**

\* ポルトガル人アーティストが来日したおりにインスピレーションを受けて描いた油絵。

3月16日～25日

B-gallery (東京)

<http://www.bgallery.info/top.html>

( 美術展 )

## 「SHIGEKO 展」ポルトガル 薫り・アズレージョ

\*ポルトガル伝統タイルの基礎的技法を重んじながらアーティスト性を表現した作家のアズレージョ展

3月16日～21日

ギャラリーきむら (京都)

( 展覧会 )

---

## WAX JAPAN イベント

\* DJ によるポルトガル系音楽、ダンスパフォーマンスなど。

3月19日

SECO BAR 渋谷 (東京)

<http://secobar.jp/>

( クラブイベント )

---

## シントラ市高校生受け入れ事業

\* シントラ市の高校生が大村市でホームステイ。

3月25日～4月1日

大村市地域げんき課 (長崎)

( 文化交流 )

---

京都駅 2010 年 日本ポルトガル修好通商条約 150 周年記念事業

「ポルトガル人の航海と文明同士の出会い」

石井春 アズレージョ展

\*ポルトガルの伝統工芸、アズレージョ装飾タイルにインスピレーションを受けて、長年ポルトガルに通い、作品を作り続けてきた作家の個展。

4月2日～12日

京都駅前地下街ポルタ ポルタプラザ（中央広場）

京都駅前地下街ポルタギャラリー華

<http://www.porta.co.jp/?cat=157>

（美術展）

---

「Changing Machiya」

ペドロ・ベズーゴ作品展

\*ポルトガル人アーティストによる日本での初個展

4月6日～18日

京都文化博物館別館 Arton アートギャラリー

<http://www.arton-kyoto.com>

（美術展）

---

マノエル・デ・オリヴェイラ監督作品

「コロンブス 永遠の海」公開

マノエル・デ・オリヴェイラ監督の近年作品の日本公開。

4月17日～30日 「ノン、あるいは支配の虚しい栄光」

5月1日～6月11日 「コロンブス 永遠の海」

岩波ホール（東京）

<http://www.iwanami-hall.com/>

（映画）

---

## 白須純個展「Beleza Universal ベレーザ・ユニヴェルサル」

\* 「ベレーザ・ユニヴェルサル」というキーワードを基にアズレージョの世界を再構築する作家の作品展。

4月17日～5月23日

eitoeiko (新宿)

<http://eitoeiko.com>

( 美術展 )

.....  
日本ポルトガル協会セレモニー 2010年日本・ポルトガル修好150周年記念の  
集い ～映画と音楽の午後～

4月19日

岩波ホール(東京)

<http://www.iwanami-hall.com/>

( イベント )

## ポルトガルのこころ ポエジーとアート

### “Dois Países, Quatro Artistas”

\*ポルトガル人・日本人アーティストによる陶芸・アズレージョ展（クリスティーナ・マール、ジョゼ・ファロンバ、石井春、白須純）

5月15日～23日

### “Ponte Pequena – Portugal e o Japão” / “...tornando na volta do mar...”

\*山本郁書道展「Ponte Pequena」/ダヴィッド・デ・アルメイダ「。。。海に。。。」

5月24日～30日

### トークショー

\*ポルトガルワインを飲みながら、詩人ペソアを語る。

5月27日 18:00 – 20:00

### “Arte Portuguesa no Japão”/ “Drawings in Translation”

\*写真展『日本におけるポルトガルアート』（写真：海老原勇人）

ペドロ・ベズーゴ展「Drawings in Translation」、ポルトガルポスター展とともに。

5月31日～6月6日

### “Luís Peixoto”

トポルトガル現代アート美術展

\*ジョアン・フィゲイレード、テレザ・ラセルダ、DDiArte の作品を紹介

6月7日～13日

ギャラリーEYE OF GYRE 表参道（東京）

<http://gyre-omotesando.com/>

（美術展）

---

ジョアン・カルヴァーリョ 絵画展「Espaço Vazio - クウカン」

\* ポルトガル人アーティストが来日したおりにインスピレーションを受けて描いた油絵。

5月15日～22日

阿波踊り会館 (徳島)

5月24日～6月15日

モラエス美術館 (徳島)

(美術展)

---

ロドリゲス通事賞授与式

5月28日

大使公邸 (東京)

(文学)

---

**PORTUGAL – Arte e Poesia**  
**ポルトガルの風 ポエジーとアート**

\*ポルトガルに縁のある日本のアーティスト3人による作品展を開催します。  
画家 2人と写真家、それぞれの視点からみたポルトガルのこころの風景をお楽しみください。

6月1日～14日  
長谷川聖子（画家）  
nakaban（画家）

6月15日～30日  
内藤さゆり（写真家）  
nakaban（画家）

8時～21時(平日) / 11時～20時(土日祝)

Marunouchi Cafe（有楽町）

<http://www.marunouchicafe.com/gallery/>

（美術展）

.....

**Shizuoka 春の芸術祭 2010 劇『彼方へ 海のオード』**

\*詩：フェルナンド・ペソーア、演出：クロード・レジ  
出演：ジャン＝カンタン・シャトラン

6月11～13日  
静岡県舞台芸術センター

[http://www.spac.or.jp/10\\_spring/index\\_e.html](http://www.spac.or.jp/10_spring/index_e.html)

（演劇）

.....

## EU フィルムデーズ

\* Belle Toujours 「夜顔」 (マノエル・デ・オリヴェイラ) 出品

パリで偶然再会したアンリとセヴリーヌ。38年前の「あの日の秘密」とは何だったのか？  
巨匠オリヴェイラ監督がL・ブニュエル監督にオマージュを献げて描いた、名作『昼顔』の  
登場人物たちの後日談。

5月5日～ 6月20日

6月12日 16時および6月16日 15時(夜顔)

国立映画センター (東京)

<http://www.momat.go.jp/index.html>

( 映画 )

---

## 青目 海 「南ポルトガルの笑う犬と、花と人と町と・・・」

\*ポルトガルの町で友達になった犬たちの写真や、ポルトガルに自生する花の押し花と日本画を組み合わせた作品約40点を展示。

6月12日(土)～6月25日(金)

13:00～19:00 (最終日は17:00まで)

Poster Hari's Gallery

<http://posterharis.com/gallery.schedule.aome2010.html>

( 美術展 )

---

社団法人日本ポルトガル協会による日本ポルトガル修好 150 周年記念レセプション

6月18日 17:30～19:30

新宿

(イベント)

---

劇『海の讃歌』

\*詩：フェルナンド・ペソーア、演出：クロード・レジ

出演：ジャン＝カンタン・シャトラン

6月19-20日

京都芸術劇場 春秋座 京都造形芸術大学

<http://www.k-pac.org/performance.html>

( 演劇 )

---

## PORTUGUESE CONTEMPORARY ART EXHIBITION - The Age of Micro-voyages

\*ポルトガル現代美術作家による映像作品の展示

ポルトガルは、かつて「大航海時代」を先導した国であり、そのためポスト・コロニアルの時代にはネガティブなイメージに苦しみ、深く自省した国でもあります。そんなポルトガルを凝視(みつ)めなおすために、現在、活躍している4名のポルトガル人作家による映像展示を行います。また、本年は日本・ポルトガル修好通商条約締結150周年にあたる年でもあります。南蛮屏風やサッカーではない、ポルトガルの「現在(いま)」を感じてください。

出品作家：

João Tabarra (ジョアン・タバラ) Maria Lusitano (マリア・ルジターノ)

Miguel Palma (ミゲール・パルマ) Pedro Costa (ペドロ・コスタ)

オープニング・レセプション

6月19日(土) 17:00~19:00

女子美アートミュージアム ロビー

トーク・イベント

中村光則(元シザ事務所所員)× KIKI(モデル,女優)× 杉田敦(美術批評)

“アルヴァロ・シザ：ポルトガルの現代建築”

7月10日(土) 14:00~16:30

相模原キャンパス 10号館1階 1011スタジオ

公開レクチャー

ペドロ・コスタ(映画監督)

7月31日(土) 15:00~16:30

相模原キャンパス 2号館2階 224教室

6月19日~8月1日 10時~17時

女子美術大学 女子美ミュージアム

<http://www.joshi.ac.jp/tagblocks/museum/news/museumlist/0000001780.html>

(美術展)

.....

## JOÃO TABARRA 展

\*ジョアン・タバラ、1966年リスボン生まれ。写真や映像などのメディアを中心に、ユーモラスでありながらシニカルな主張を秘めた作品を発表し続けているポルトガル人アーティスト。ステレオタイプなポルトガル像が無批判に再生産されていることに対する批判をはじめとして、現代ポルトガル社会の根底に潜む葛藤や問題を、独自の視点で告発する。もちろんそれは、ポルトガルのみならず、あらゆる権力、制度、暴力やシステムへの疑義としての意味も秘めている。

オープニング・パーティ：6月26日(土) 17:00～20:00 (アーティスト来日予定)

6月26～7月17日 13時～19時

Art & River Bank

[www.art-and-river-bank.net](http://www.art-and-river-bank.net)

( 美術展 )

.....  
インテリアライフスタイル展参加

6月

( 経済 )

.....  
ANTOR フェア参加

6月

( 観光 )  
.....

## 日本ポルトガル修好通商条約 150 周年記念展

ダヴィッド・デ・アルメイダ「フェルナン・メンデス・ピント」展 『…海へ還る…』  
「ポルトガル人の航海と文明同士の出会い」カモンイス院ポスター展

\*ポルトガルで活躍するアーティスト、ダヴィッド・デ・アルメイダがフェルナン・メンデス・ピント生誕 500 年を機に、その著書をテーマに作品を制作しました。フェルナン・メンデス・ピントとはポルトガルの冒険家であり、16 世紀後半に日本にもやってきた人物。帰国後、その冒険譚を『東洋遍歴記』に著し、当時の東洋の様子がわかる数少ない書物として現在でも広く読まれています。

7 月 1 日～13 日

起雲閣（熱海市）

<http://www.city.atami.shizuoka.jp/icity/browser?ActionCode=content&ContentID=1125812954933&SiteID=0>

電話 0557-86-6233

（美術展）

.....  
ジョアン・カルヴァーリョ絵画展「Espaço Vazio - クウカン」

\* ポルトガル人アーティストが来日したおりにインスピレーションを受けて描いた油絵。

7 月 1 日～20 日

サーラ・デ・うすき（臼杵市）

（美術展）  
.....

～サウダーデの心～

ポルトガル民族音楽・ファドとの出逢い

出演：           ファディスタ(歌手)：鹿糠ちはる  
                  ファディスタ(歌手)：高柳卓也  
                  ポルトガルギター：月本一史 (Esquina do Som)  
                  ギター：水谷和大 (Esquina do Som)

- ご来場の方に、ワインや工芸品などのポルトガル物産が抽選で当たる！
- コンサート・チケットで、当日起雲閣をご見学いただけます(ポルトガルの現代アート ダビッド・デ・アルメイダ展『…海へ還る…』開催中)

7月3日 14:30 開場 15:00 開演

起雲閣音楽サロン (熱海市)

チケットのお求め・お問い合わせ：熱海国際交流協会 (熱海市役所4階 文化交流課 月～金曜)

電話 0557-86-6233 FAX: 0557-86-6223

<http://atami-ai.jp/>

(コンサート)

---

山之内けい子 “愛しのポルトガル” 写真展

\* 首都リスボンの聖アントニオ祭、ポルトとブラガの聖ジョアン祭を中心に  
新作約100点をお届けします。

6月12・13日と6月23・24日に開催される祭りを見たくて日程を合わせました。

リスボンでは、薄紫のじゃカランダの花が満開でした。

7月15日～26日

10:00～21:00

セントラルパークギャラリー (名古屋)

(愛知県名古屋テレビ塔地下街北・久屋大お通駅)

(写真展)

---

## 八田智大&リカルド・ヴィエイラ ピアノ・リサイタル

### 八田智大

\*ピアニスト八田氏の音楽家としての経歴は華やかなものであり、例を挙げれば、PTNA 全国決勝大会において 2 年連続で銀賞および銅賞、ララ・マリアム王女国際ピアノコンクール 3 位入賞、ユネスコ国際音楽コンクールでのベスト 10 入賞、フランス大使館特別賞、ロシア大使館特別賞、と枚挙にいとまがない。同氏はまた、ポルトガル第二の都市ポルトにおいておこなわれた国際コンクールにて最年少で準優勝を果たすなどその才能の幅を着実に伸ばし、世界的な名声を獲得しつつある。このような輝かしい経歴を有する八田氏がポルトガルの若き才能あるピアニストリカルド・ヴィエイラ氏とともにポルトガルのクラシック音楽を含む楽曲の演奏会をおこないます。

### リカルド・ヴィエイラ

\*このポルトガル人ピアニストがピアノへ情熱を向けるようになったのは、サンタ・マリア・ダ・フェイラにおいて、20 年前のことになる。現在、リカルドはパリのエコール・ノルマン音楽学院に通い、Paul Badura-Skoda, Luiz de Moura Castro, Caio Pagano, Paulo Álvares, Luisa Tender, Maian Rybicki 等の高名な音楽家の指導を受けており、今後のポルトガル音楽界を担う逸材として期待されている。また、音楽活動のほかにも、カステロ・ブランコにある芸術高等学院修士課程にて Paulo Álvares e Luísa Tender の指導の下、作曲家ドビュッシーに係る研究をおこなっている。

### 八田智大 ピアノ・リサイタル

\*2009年12月30日ポルトガルのラジオ放送 ANTENA2 にて「2010年ショパン年・オープニングコンサート」で演奏をおこなった八田智大のリサイタルです。

7月30日(金) 午後7時開演 (6時30分開場)  
電気文化会館 ザ・コンサートホール (名古屋市)  
問い合わせ ミューズクリエート 052-910-6700

<http://www.muse-ongakukan.com/create/100730.htm>

## 八田智大&リカルド・ヴィエイラ ピアノ・リサイタル

\*パリで活躍中の八田智大とポルトガルのポルト出身の新進気鋭のリカルド・ヴィエイラ。2人のピアニストは4月にパリのポルトガル大使館で日本ポルトガル修好通商条約150周年の記念演奏会を開催しました。同プログラムを日本でも演奏します。

8月1日(日) 午後4時開演(3時30分開場)

徳川美術館 講堂 (名古屋市)

チケット申し込み先: 徳川美術館 リサイタル係

Tel 052-935-6262 Fax 052-935-9444

[http://www.tokugawa-art-museum.jp/news/detail\\_125\\_1.html](http://www.tokugawa-art-museum.jp/news/detail_125_1.html)

(音楽)

---

## 帆船サグレス号来航

\*サグレス号は今年1月19日に第三回目の世界一周航海に出航しました。ポルトガル共和国海軍練習船としての航海でもありますが、海に浮かぶポルトガルの移動大使館としての大きな任務も負っています。長さ70mの帆船は全長約70メートルあり、日本には日本ポルトガル修好通商条約150周年の記念事業の一環として寄航します。

7月24日~29日 横浜

横浜市 新港埠頭第五岸壁(赤レンガ倉庫そば)

7月24日(土) 14:00~18:00 (入場は17時まで)

7月25日(日) 10:00~12:00 14:00~18:00 (入場は17時まで)

7月26日(月) 一般公開なし

7月27日(火) 10:00~12:00 14:00~18:00 (入場は17時まで)

7月28日(水) 10:00~12:00 14:00~18:00 (入場は17時まで)

7月29日(木) 10:00 種子島へ出航

8月2日 西之表市(種子島)

8月3日~8日 長崎

サグレス号が使用する岸壁は変更されることがあります。お手数ですが7月24日以降に下記サイトにて変更の有無をご確認くださいようお願い申し上げます。

<http://www.7b.biglobe.ne.jp/~sagres/Informations/sagres-main-frame.htm>

(イベント)

---

**“Portugal Old and New” アジアティック・ソサイエティーにて大使による講演**

9月28日

(講演)

---

**ポルトガル映画祭 2010**

\*現代ポルトガル映画を代表する作家たちの作品を、日本未公開作品も交えて紹介します。東京での開催後は、コミュニティシネマセンターによる「シネマテーク・プロジェクト」の第3弾として全国10会場（仙台・川崎・金沢・神戸・広島・山口・高知・福岡・京都・長崎）に巡回する予定です。

9月17日～10月3日〈東京〉

**マヌエル・ド・オリヴェイラ監督作品**

『アニキ・ボボ』(1942年)

9月17日 [金] 15:00

9月26日 [日] 11:00

『春の劇』(1963年) 日本初公開

9月17日 [金] 19:00

9月26日 [日] 14:00

10月3日 [日] 14:00

『過去と現在 昔の恋、今の恋』(1972年)

9月18日 [土] 17:00

9月26日 [日] 17:00

『カニバイシュ』(1988年)

9月19日 [日] 17:00

10月2日 [土] 11:00

『神曲』(1991年)

9月21日 [火] 15:00

10月1日 [金] 19:00

ジョアン・セーザル・モンテイロ監督作品

『黄色い家の記憶』(1989年) 日本初公開

9月21日 [火] 19:00

9月25日 [土] 11:00

10月3日 [日] 11:00

『ラスト・ダイビング』(1992年)

9月22日 [水] 19:00

9月25日 [土] 14:00

『神の結婚』(1999年)

9月23日 [木・祝日] 13:30

ポルトガル映画セレクション(1976~2008)

『トラス・オス・モンテス』(1976年/監督:マルガリータ・コルデイロ、アントニオ・レイス) 日本初公開

9月19日 [日] 14:30

9月30日 [木] 15:00

10月3日 [日] 17:00

『骨』(1997年/監督:ペドロ・コスタ)

9月23日 [木・祝日] 11:00

9月30日 [木] 19:00

『トランス』(2006年/監督: テレサ・ヴィラヴェルデ) 日本初公開

9月24日 [金] 19:00

10月2日 [土] 17:00

『私たちの好きな八月』(2008年/監督: ミゲル・ゴメス) 日本初公開

9月24日 [金] 15:00

10月2日 [土] 13:30

以下の作品はフィルムセンターでの上映のみ

パウロ・ローシャ監督作品

『青い年』(1964年)

9月18日 [土] 11:00

9月28日 [火] 15:00

『新しい人生』(1966年)

9月18日 [土] 14:00

9月28日 [火] 19:00

『恋の浮島』(1982年)

9月19日 [日] 11:00

ナショナル・フィルム・センター、アテネ・フランセ文化センター、コミュニティーシネマセンター

<http://www.momat.go.jp/english/nfc/index.html>, <http://www.athenee.net/culturalcenter/>

e <http://www.jc3.jp/portugal2010/>

(映画)

.....

## 長崎にてポルトガル週間 (おくんち祭り)

10月7日～9日

長崎

( イベント )

---

## 東京フォーシーズンズホテルにてポルトガル月間

「笑劇イネス・ペレイラ」の翻案能劇

( 櫻間会 )

10月14日

( 演劇 )

グルメフェア

( イベント )

---

## 日ポ記念切手発行

記念式典

10月22日

大使公邸(東京)

( イベント )

---

## 京都にてポルトガル週間

11月26日～28日

京都外国語大学

( イベント )

---

**ポルトガル現代音楽グループ Sound Art Electric Ensemble**

\*Miguel Azguime によるコンサート及びワークショップ

12月

洗足音楽大学

( 音楽会 )

---

**日本ポルトガル現代美術展 (版画)**

12月

B-Gallery (東京)

( 美術展 )

---